

吉田

支持政党なしの方々の市議候補

つとむ

提唱 1 若者育成が最優先

インターンシップの充実。起業の取組を重視する一方、若者の安定就業優先。中高年は若者を育成することに奉仕する立場で70歳代まで元気に働く。

提唱 2 経済の成長と技術の革新が最重要

元インターン生の一人は藻類(ミドリムシ)を研究し、起業してユーグレナ社長。吉田つとむは、町田発のメロン水耕栽培システムの全国展開に期待。

提唱 3 情報公開、情報開示

行政と議会の情報公開を限りなく追及する。
他方で、政治家個人の自己開示も欠かせない。

● 政党・業界・団体から完全に自由自立

すべての政党組織、業界団体の推薦、応援を完全辞退したクリーン選挙を16年間に貫き通し、市議選4期連続トップ当選を果たす。応援を受ける際には、あくまで個人を対象に支えていただく方法を継続してきました。

● 良識ある保守主義

政治的には政党完全無所属を貫き、議会では最小グループにあっても、第35代議長にも選出される信頼と安定感を持ってきました。「良識ある保守主義」は、既存の社会体制を前提に法治主義による秩序を重視し、柔軟な思考にもとづいて議論をする立場です。日頃から少数意見にも耳を傾け、必要な時には、身を挺して市長や大政党グループのブレーキ役にもなります。



吉田つとむが最初に提唱し、実現したこと

● 政治の情報公開

町田市で最初に情報公開請求を行い、市長交際費を公開させる。
町田市が発注した入札の落札者をネットで事前公開し、ピタリと当てる。

● 福島原発爆発事故に伴う

放射性物質の放出拡散の即時調査(市内のポイントで、放射線量の定期測定、学校給食用牛乳の汚染測定:全国初)

● 子どものプレイパークを本会議

子どものプレイパークを本会議で提唱。まず、民間で冒険遊び場が開設し、現在は公設民営で市内各地に設置される。

● ごみ収集料金の高齢者無料

ごみ収集料金の高齢者無料の見直しを唱え、大半の議員が公平化を支持し、町田市の方針を改めさせる。一方で、行政の当初案に無かった幼児のおむつの無料化の声を代弁し、実現する。

● 議長時代に議会と高校生の意見交換会

議長時代に議会と高校生の意見交換会を提唱。現在では、町田市議会の主要イベントの一つになる。

● 学校給食の無償化実験を提唱

学校給食の無償化実験を提唱、発案して、当時の所属会派として提唱し、実験すると注文方式でも注文が殺到した。現在は、東京都の施策として学校給食の無償化が実施されている。

● ジェネリック医薬品の勉強会

ジェネリック医薬品の勉強会を始めて開催し、他の議員も参加。現在ではジェネリックが主流。

● 保育園が不足する時代に

駅前(駅型)保育園の設置を本会議で最初に提案して、その後の保育施設の普及に貢献する。当初、行政は反対であったが、町田市内の利便性が高い場所に次々と開設される。

● 議会のネット中継を提案する

吉田つとむが議会運営委員長として初めてネット中継を提案し、オンデマンド方式による議会のネット中継が、行政に先駆けて動画導入公開。

● 企業創成事業支援

インキュベーター施設の設置をいち早く提起し、新産業創造センター設置で一部実現。*吉田つとむの元インターン生が、東大インキュベーター施設入居者として上場第1号を実現しました。

● 中学校完全給食の導入実施

不評の注文方式弁当を止め、給食センター方式の導入先進地を当時の会派で視察し、会派で変換を提唱しました。議会全体でかたくなな石阪市長に方針転換を求め、2025年度までに完全全域実施。



吉田つとむが強く提唱し続けていること

● 工芸品販売の営業職を職業としてきた立場から見て、町田市の収蔵工芸品は世界的な一級品と言えず、**工芸館美術館新設、及び関連費に80億円もかけるのは税金の無駄使い**と主張し続けている。

● 65歳以上を「生産年齢人口」に入れない、**町田市政の発想の転換**が必須と一人で訴えている。



お願い
証紙はここに
貼ってください

完全無所属 吉田つとむ 市議会議員候補者

吉田つとむは、インターンシップに人生を捧げる

若者が人生の歩むべき道を定め、自分の職業を選択していくプロセスをバックアップすることが最大の喜びです。吉田つとむが主宰するインターンシップには、1998年以降、女子76名、男子39名が研修体験に参加し、多くが堅実な就職を果たしています。

最近の20年間は、外部のマッチング機関に頼らない独自に研修生を募集、研修プログラムを設定し、現在では、「就活支援コーディネーター」と称しています。

高校生で吉田つとむのインターンシップに参加した第45期生は、大学1年時の当時、第1期生の出雲充さん(ユウグレナ社長)を訪ねて本社で面談しましたが、2025年4月には順調に就職して有名外資IT企業で元気に働いています。

*卒業前に東京博物館のカルティエ工展を見学しました。



吉田つとむの特色（現場主義の第一人者）



阪神大震災、中越地震、東日本大震災(福島原発周辺を含む)の被災地には何度も現地を訪れ、熊本地震、一人でいち早く激震地に入りました。現地をフリーに動ける徒歩行動や、機動力を発揮するために自分で車を運転して回るのが特徴です。また、新型コロナ拡大時には、他市に支援品を送る発案をし、当時の所属会派議員と協同し、町田市を通さずに、マスクを模原市に贈る交渉をまとめる実行力を発揮してきました。能登半島地震の被災地には、視察場所を変え、2度とも一人で訪れました。

吉田つとむの思想（働く人の応援団）



一般の中小零細企業で工芸品販売の営業職を10年以上に亘って会社の閉業まで務めていました。その他、プロフィール(ネット掲載記事)のように多数の困難を経験してきました。政治の道では国会議員の公設秘書や、小教政の事務局も経験しました。妻は勤め先が倒産し、突然の失業を経験しています。それらの経験を踏まえて、働く人の応援団を任じています。現在は、ベンチャー企業やワーカーズコープの考えに関心を持ち、その拡大の一助になりたいと思っています。ただし、一般の人や就活学生には「安定就業が一番」と訴えています。



吉田つとむのスタンス(政党完全無所属議員の立場を取り16年)

自分では一本道を歩んできたつもりですが、議会では何度も少数派に属してきました。それでも、くじけずに、市長・行政に対して的確な提言を投げかけて、人から一目置かれる存在です。

完全無所属の議員として初めての議長を選挙で勝ちとり、6期目の満期まで務めました。時流に節を曲げることなく、独立自尊の道を歩んでいます。

議会では、その他に副議長、議運委員長、会派代表等をこなしてきましたが、最近では後輩議員をバックアップする役目を進んで果たしています。*議長として議事進行を行う。



吉田つとむの政治活動スタイル



- 過去8年間、実行したことは環境に配慮し、政治活動ポスターを1枚も貼らずに来ました。クリーンな街をめざし、「吉田つとむはインターネットを武器にする!」と宣言しています。
- 他方で、過去20年間、月に常に新しい配布チラシを作り、暑い日も寒い日も、雨の日も欠かさずに駅頭で配布してきました。現在に至るも変わらず続けており、町田駅に立つと、「吉田つとむさんだ!」と塾帰りの小学生にも親しまれています。



吉田つとむプロフィール

開かれた良識ある保守主義に立ち、納税者主権の視点から政治に取り組む。ネットを多用し、YouTube「発見動画チャンネル」も運営し、それを愛称にする。「支持政党なし」の方々の代表を任じる。6期目に議長を務める。現在、町田市議会無所属会派の一員。個別対応形式のインターンシップが好評。自身では、10年以上務めた最初の勤務先が廃業で失業を経験、その後は転職を重ね、国会議員公設秘書となり、人の意見を聞いて回る仕事に専念している。



HP



メール